

五霞町災害対処訓練【地震防災訓練】実施! ～役場・町民一体となって「正しくおそれて」地震に備える～

11月24日、全国で繰り返し発生する大規模地震の発生に備え、関東地域で大規模な地震が発生した場合を想定し、役場の地震災害に対する災害対策能力の向上、町民の地震災害に対する備えの向上を図ることを目的として『地震防災訓練』を実施しました。

主な訓練は、「災害対策本部会議訓練」「初動情報収集訓練」「住民避難・避難所開所等訓練」「炊き出し訓練」の4つの訓練を実施するとともに、指定避難所として(株)染めQテクノロジー、社会福祉法人 五霞愛隣会と協定調印式をおこないました。

【災害対策本部会議訓練】

今回の訓練では、役場初のブラインド訓練を実施しました。この訓練により災害対策本部長以下職員は刻々と変化していく状況の中で、限られた情報を分析し人命救助活動等の地震災害における災害対処要領を訓練しました。

ブラインド訓練とは、「目の見えない」状態のことをいい、災害訓練の方法として取り入れられている手法です。訓練の要領や訓練時の情報を事前に訓練を実施する側に伝えず「ブラインド状態」にコントローラー(訓練を組み立てる側)からプレーヤー(訓練実施する側)に対して被害状況等を与えてその結果、情報を「分析」し「考え」、「行動」させる訓練方式です。

「実際・実践的訓練」として色々な機関等で実施されています。

災害対策本部会議で指示を出す本部長



「いのち」守る情報収集を目指して【初動情報収集訓練】

災害発生直後の混乱の中、正確かつ迅速に情報を収集し、「人命救助」を始めとする、被災者に必要な支援を実施するため、事前に耐震基準等を調査して地震に対する脆弱性を評価し、**ドローンにより空中から、公用車により地上から実際の情報収集訓練を実施**しました。

デジタル化が進む災害対策本部

ドローンによる【初動情報収集訓練】



発災直後にドローンのライブ映像により町内全景を確認



地震発生後、速やかに実施された本部長からのYouTubeによる町民へのメッセージ動画配信

